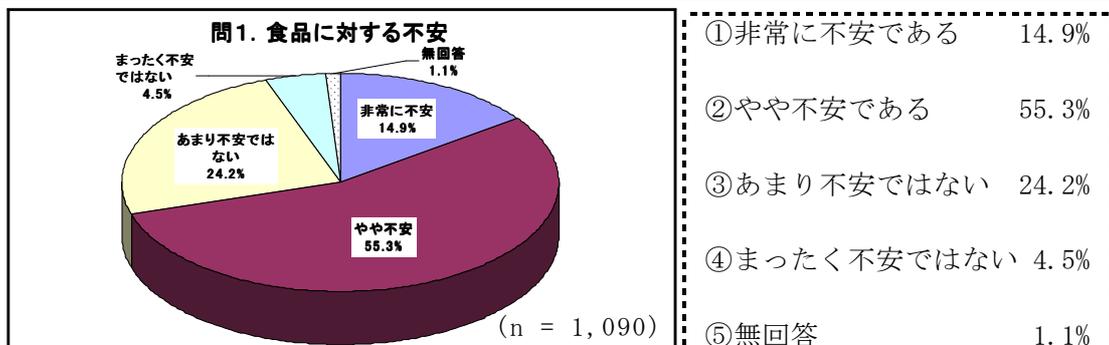


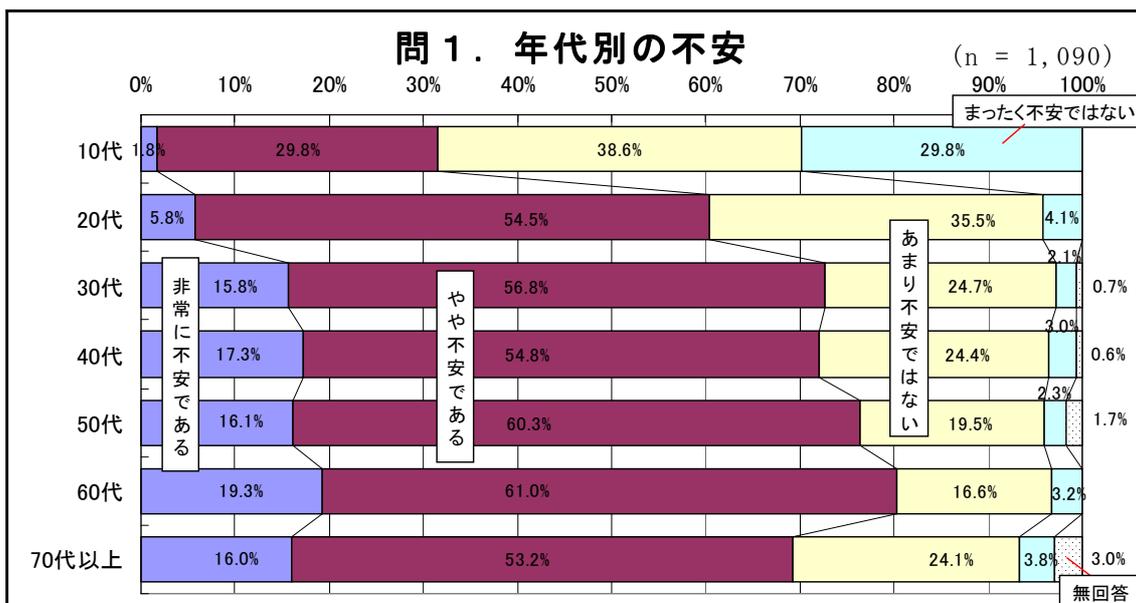
5 調査結果

(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問1. 食品の安全性に不安を感じていますか？（1つ選択）



食品の安全性に不安を感じているかを聞いたところ、「非常に不安である」と答えた人が14.9%、「やや不安である」と答えた人が55.3%となり、2つを合わせると70.2%の人が「不安である」と答えています。なお、前回調査の「非常に不安である」と「やや不安である」を合わせた割合78.4%と比べると、8.2ポイント減少しています。

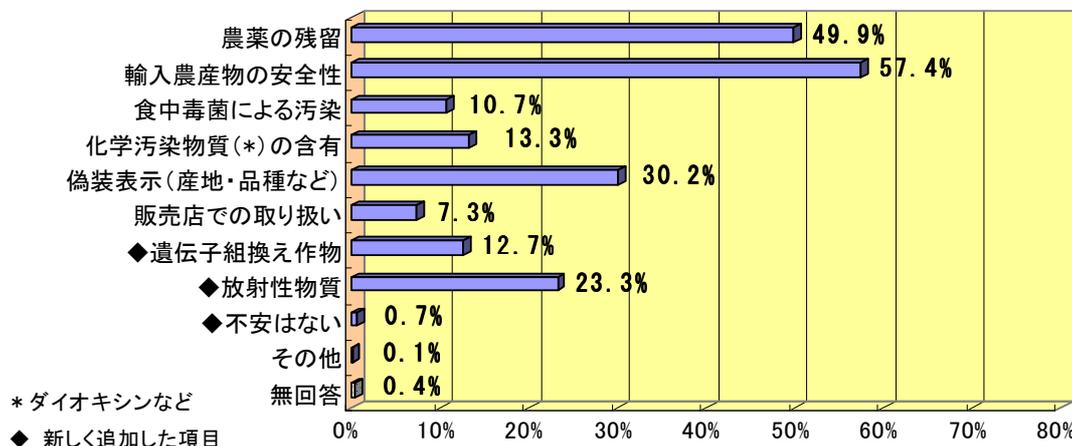


また、「不安である」と答えた人の割合を年代別にみたところ、
 10代：31.6% 20代：60.3% 30代：72.6% 40代：72.1%
 50代：76.4% 60代：80.3% 70代以上：69.2%
 となり、10代は「不安である」とする人の割合が他の年代に比べ特に低く、60代まで年代が上がるにつれ、その割合は増加傾向にあります。（上表参照）

問2. 問1で「①非常に不安である」・「②やや不安である」と答えた方で、農産物（生鮮野菜・果物・米など）を購入する際次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？（2つ以内選択）

問2. 農産物における不安要因

(n =765)



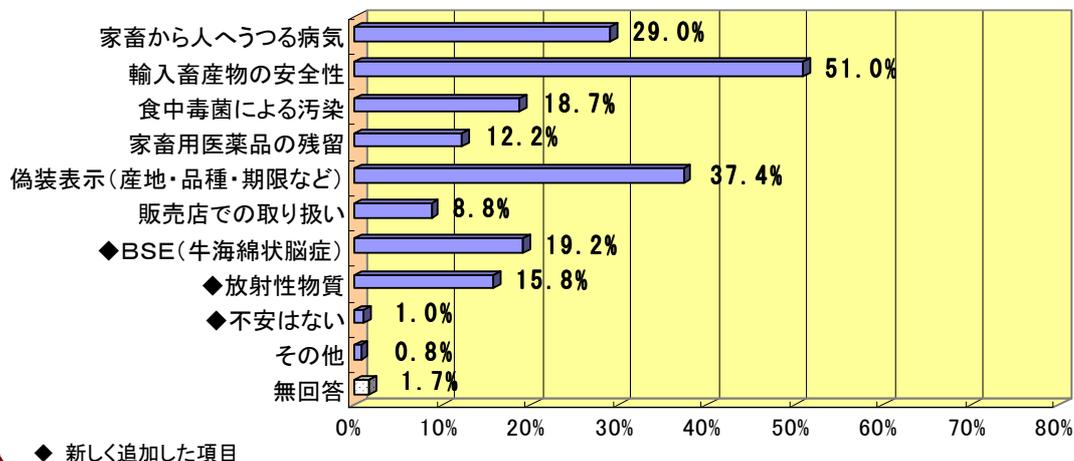
食品の安全性に対して「不安である」と答えた人（765人）に、農産物における不安要因と聞いたところ、最も多いものから順に、「輸入農産物の安全性」57.4%、「農薬の残留」49.9%、「偽装表示」30.2%となっています。なお、この3項目の順位については、過去3回の調査でも同様の結果となっています。

また、今回の特徴としては、新たに「遺伝子組み換え作物」12.7%や「放射性物質」23.3%を加えたことで、多くの項目の割合が前回より減少する中、「食中毒菌による汚染」(H21:5.1%→H24:10.7%)と「販売店の取り扱い」(H21:3.1%→H24:7.3%)に対する不安が増加しています。

問3. 問1で「①非常に不安である」・「②やや不安である」と答えた方で、畜産物（肉類・卵・乳製品など）を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？（2つ以内選択）

問3. 畜産物における不安要因

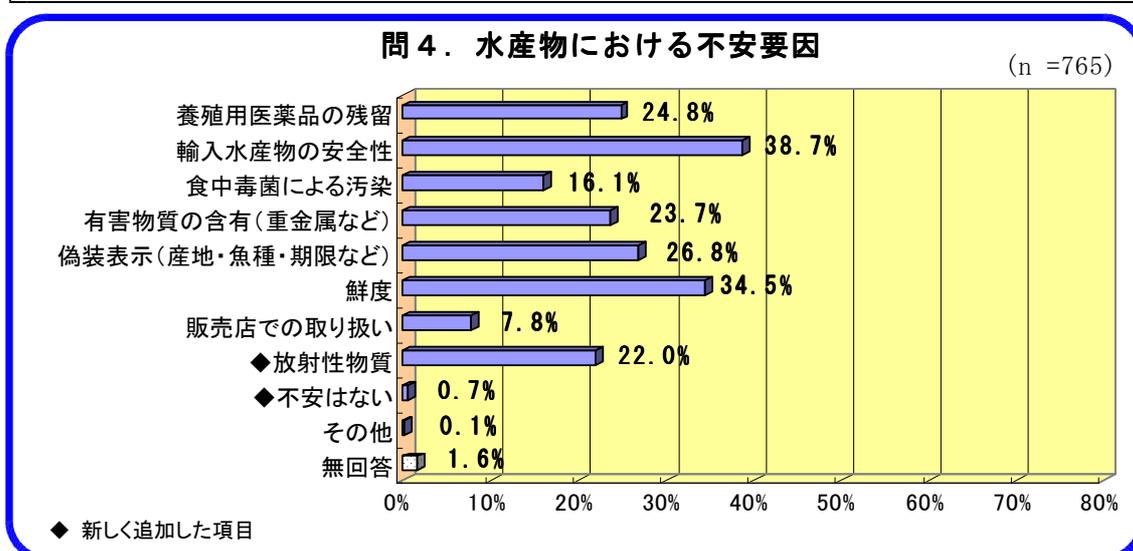
(n =765)



食品の安全性に対して「不安である」と答えた人（765人）に、畜産物における不安要因を聞いたところ、最も多いものから順に、「輸入畜産物の安全性」51.0%、「偽装表示」37.4%、「家畜から人へうつる病気」29.0%となっています。なお、この3項目の順位については、過去3回の調査でも同様の結果となっています。

また、今回の特徴としては、新たに「BSE（牛海綿状脳症）」19.2%や「放射性物質」15.8%を加えたことで、多くの項目の割合が前回より減少する中、「食中毒菌による汚染」（H21:10.9%→H24:18.7%）と「販売店の取り扱い」（H21:6.0%→H24:8.8%）に対する不安が増加しています。

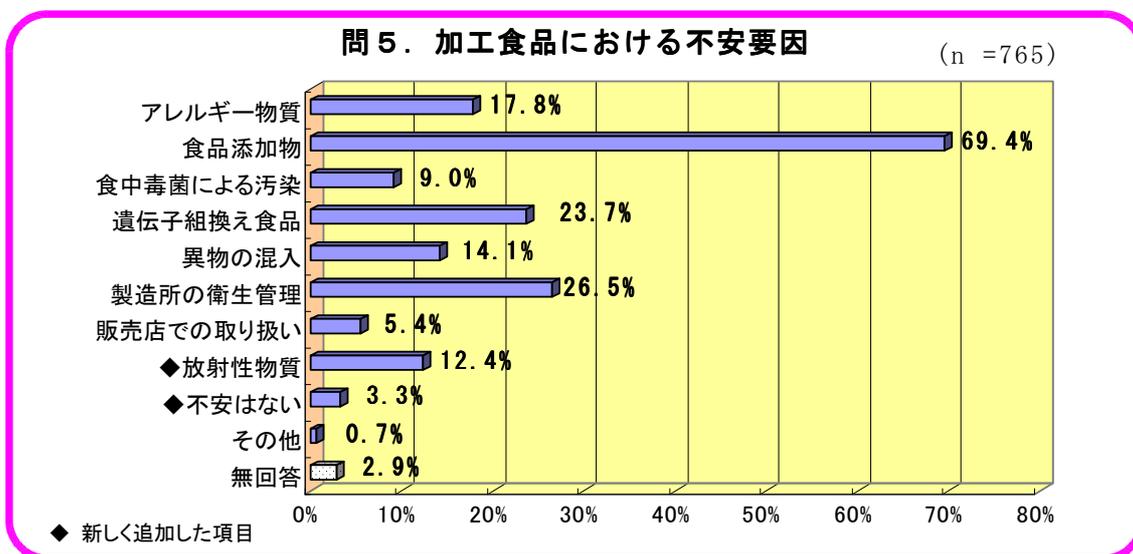
問4. 問1で「①非常に不安である」・「②やや不安である」と答えた方で、水産物（魚介類・水産加工品など）を購入する際次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？（2つ以内選択）



食品の安全性に対して「不安である」と答えた人（765人）に、水産物における不安要因を聞いたところ、最も多いものから順に、「輸入水産物の安全性」38.7%、「鮮度」34.5%、「偽装表示」26.8%となっています。

今回の特徴としては、新たに「放射性物質」22.0%を加えたことで、多くの項目の割合が前回より減少する中、2番目に多い「鮮度」に対する不安が、前回調査から大きく増加（H21:21.7%→H24:34.5%）するとともに、「食中毒菌による汚染」（H21:11.2%→H24:16.1%）も増加しています。

問5. 問1で「①非常に不安である」・「②やや不安である」と答えた方で、上記以外の加工食品（麺類・菓子・調味料など）を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？（2つ以内選択）



食品の安全性に対して「不安である」と答えた人（765人）に、加工食品における不安要因を聞いたところ、「食品添加物」が69.4%と他の項目を大きく引き離しており、過去3回のアンケート調査でも同様の傾向を示しています。なお、2番目は「製造所の衛生管理」26.5%、次いで「遺伝子組換え食品」23.7%となっています。特徴としては、「アレルギー物質」に対する不安が増加（H21:12.1%→H24:17.8%）し、「遺伝子組換え食品」に対する不安が調査ごとに減少（H15:46.0%、H18:42.8%、H21:32.8%、H24:23.7%）しています。

また、今回新たに加えた項目の「放射性物質」は12.4%となっています。